

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第283号	
事故等種類	衝突（防波堤）	
発生日時	平成21年8月25日 11時40分ごろ	
発生場所	岡山県倉敷市 備前大 ^{おおぼたけ} 島港北一文字防波堤南灯台から真方位165° 250m付近（概位 北緯34° 26.5′ 東経133° 48.8′）	
事故等調査の経過	平成21年10月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 交通船 ユーヅ^{ユージ}号、5トン未満（登録長7.09m）</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 271-25149岡山、有限会社下津井造船所</p>	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	船長が右側頭骨骨折、気脳症	
損傷	船首外板が破損、排気管が脱落	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、2人を同乗させ、岡山県倉敷市大島漁港内にある長さ170mの⑧防波堤と呼称する防波堤（以下「本件防波堤」という。）に沿って約13ノットの速力で、手動操舵で南進中、船尾にある排気口からの冷却水の排出状況を点検するため操舵位置から離れて船尾に移動し、四つんばいの姿勢で点検していたとき、足が舵輪に当たり本船が右転し、平成21年8月25日11時40分ごろ本件防波堤に衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 1</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の中央期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、大島漁港内を南進中、船長が操舵位置から離れ冷却水の排出状況を確認する際、足が舵輪に当たったため、本船が右転したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、大島漁港内を南進中、船長が操舵位置から離れて冷却水の排出状況を確認する際、足が舵輪に当たったため、本船が右転して本件防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。	